

ポジティブな女たち

「とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ」
館長雇い止め逆転勝訴

三井マリ子（女性政策研究家）



「勝った……」と左隣に座っていた島尾弁護士が低い声でつぶやきました。「勝ったんですね」と私も低い声で応じました。三月三〇日午前一一時すぎ、大阪高裁七四号法廷。塩月秀平裁判長が、「原判決を変更する」と言つて退席した直後のことでした。

原告側席の私たちは抱き合いました。私も、そして弁護士たちの目も、うるんでいました。傍聴席の大歓声も、私の耳にはいりませんでした。

塩月裁判長は、「豊中市の男女共同参画推進センター『すてっぷ』館長排斥は、『人格権侵害』にあたる」と判定したのです。侮辱的首切り行為は不法といふ、画期的な判決でした。原告（控訴人）は初代館長の私で、被告は豊中市と、とよなか男女共同参画推進財団です。

ところが二〇〇四年三月、雇い止めと言う名の首切りにありました。私は①雇い止めには合理的理由がない②新規の常勤館長採用試験は不公正③雇い止めと採用拒否の過程で受けた仕打ちは人間としての尊厳を傷つけ、精神的苦痛を与えた――として、二〇〇四年末、司法判断を求めました。裁判決は①②を認めなかつたものの、③を認めま

二〇〇〇年春、東京にいた私は、大阪府豊中市が、男女共同参画推進の拠点を作つて、その初代館長を全国公募しているのを知りました。応募した六〇人以上の中から、一次選考・二次選考を通り、私は採用通知書をもらいました。「豊中にすてっぷあり」と言われるまでがんばろうと、私は豊中駅前に小さなアパートを借り、館長職務にまい進しました。

ACTION —



ガッポーズをとる支援者たち。
2010年3月30日、大阪弁護士会館にて。

した。

二〇人のスタッフとともに、「すてっぷ」で続けた事業は、市民からも市からも高く評価されました。その企画は、地方紙はもちろん全国紙にも掲載されました。全国から議員・研究者・行政職員の視察が絶えず、海外ゲストを迎える日もありました。では、なぜ被告側が館長の私を首にしたのでしょうか。そこには、二〇〇一年ごろから豊中市で目立ってきた、男女共同参画推進条例案つぶしの市議会議員やその支援団体、「市民の会」と名乗る右派団体の黒い圧力があります。バックラッシュ(逆流、反動)と呼ばれる動きです。

判決は、バックラッシュ勢力について、「その方法は、直接に反抗することのできない豊中市らの職員に恐怖感を与えるような行動に出たり、嫌がらせを行ったり、虚偽に満ちた情報を流布して市民を不安に陥れたりするなど、陰湿かつ執拗であった」と書いています。

判決はさらに踏み込んで、「男女共同参画推進の象徴的存在であり、その政策遂行に顕著な成果をあげていた三井を、財団から排除すると引き換えに条例の議決を容認するとの合意を、北川議員らの勢力と交わすにいたつものとの疑いは完全に消し去ることはできない」としています。

実際、市の部長は、二〇〇三年秋頃から、「三井は三年で辞める」「三井は常勤はできないのだ」と嘘を流していました。新設常勤館長ポストも「第一義的には三井さん」と私を欺きつつ、裏で別の採用を決めていました。そして、三井館長留任の市民運動が起こるや、新設常勤館長の選考試験をすることにし、受験した私を不合格にしました。その選考委員会には、新館長探しに狂奔した市の部長がは

いつていました。この一連の嘘と不公正さについては、一審判決も認めています。しかし、一審は無念の敗訴。「一〇発殴られたら法律でなんとかするけど、五、六発だろう、我慢しろ」と言われたような気持でした。私は控訴しました。

控訴後二年八ヶ月、提訴してから六年目で逆転勝訴を勝ち取ることができました。東京大阪間の往復一三〇回余り。重い書類とパソコンをかかえた肉体労働でした。でも、「財団を設立し連携関係にある豊中市の人権文化部長が中立的であるべき公務員の立場を超えて……三井の人格侮辱したというべきものであって、三井の人格的利益を侵害するものとして、不法行為を構成するものというべきである」と断じた判決で、苦労が吹き飛びました。

この勝利は、「働く女性全体の人権問題」「私に代わって闘つて」という全国から寄せられた支援の声と、浅倉むつ子・脇田滋両教授の意見書、そして法的知性をフル回転して私を引っ張ってきてくれた素晴らしい弁護団のおかげです。心からの感謝をこめて、控訴審の弁護団氏名を記します。

寺沢勝子、川西渥子、大野町子、渡辺和恵、石田法子、宮地光子、長岡麻寿恵、紀藤正樹、越尾邦仁、島尾恵理、溝上絢子、中平史、相磯まつ江、大脇雅子、久米弘子、大国和江、杉井静子、角田由紀子、石井小夜子、竹川幸子、雪田樹理、梁英子、乘井弥生、有村とく子、射場かよ子(敬称略)。

なお被告側は上告したため、舞台は東京の最高裁判に移りました。